



# 碧南ロータリークラブ週報

第2303回例会 平成18年2月22日(水)

- 会長 岡田 起勇 ● 幹事 亀山 裕一 ● SAA 長田 豊治
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90  
TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100  
ホームページ: [http:// www.hekinan-rc.jp/](http://www.hekinan-rc.jp/)  
E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)
- 会報委員 杉浦昌裕・角谷信二・清澤聡之・岡本明弘

## 超私の奉仕

2005～2006年度  
国際ロータリーのテーマ



### ● 斉 唱

ロータリーソング「ロータリー讃歌」

### ● 本日のメニュー

和風弁当 とんがり帽子

### ● 本日のお客様

名古屋アコーディオンクラブ会長 神谷 肇氏  
名古屋芸能人協会会員 川村忠司氏  
名古屋西南RC 安江英雄君  
名古屋西南RC 吉田光一君



岡田起勇会長



神谷 肇氏

## 黙 禱

故新美託巳会員のご冥福をお祈り申し上げます。



## 会 長 挨拶

所得税等の申告の時期が来ました。最近、刈谷税務署の方々と接する機会がありまして、大変忙しい時期になりましたねと挨拶しますと、本年度は消費税が一番大変とのこと。消費税の課税額が個人の場合、3,000万円から1,000万円に引き下げられました。そのため、昨年から今年にかけて説明会もたくさん開いて、皆様方へ理解して頂くようにしてきてみえます。

刈谷税務署管内では、約6,000～8,000人ぐらい課税者が増えるということです。その人たちに振替納税をして頂きたいと手続書を送ってみえますが、まだ1割ぐらいしかやって頂いていません。消費税は、ご存知の通り、預かり金ですが、いったん個人の会計に入ってしまうと、なかなか人からの預かり金という意識が乏しくなってしまう。はたして、きちっと納税されるかどうかが大変心配であるとのこと。所得税等の申告時期になりましたので、税務署の方々とのお話をご報告させて頂きました。

## 米山功労者感謝状伝達



奥谷弘和君



竹中義雄君

## 幹事報告

- ・他クラブの例会変更等は別紙幹事報告の通りです。
- ・昨晚故新美託巳会員の通夜に会長と参列してきました。今回は近親者のみの密葬という事で後日改めて本葬の案内があるとの事です。一般会員の皆様はその節にお参り下さい。
- ・本日知立RCの創立15周年記念例会が予定されています。内輪のみで行われ親クラブの刈谷RCだけ招待との事です。
- ・名古屋地方裁判所より裁判員制度説明会の案内が来ています。都合のつく方はご出席下さい。



亀山裕一幹事

## 委員会報告

### 〈出席奨励委員会〉

総会員数 78 名 (内出席免除者 14 名) 出席者 63 名	
出席対象者 54 / 64 名	出席率 84.38%
欠席者 15 名 (病欠者 0 名)	前々回修正出席率 98.44%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

### 〈ニコボックス委員会〉

名古屋西南RC 安江英雄様・吉田光一様

楽しい企画の例会に来られて有り難うございます。

小笠原良治君 首相官邸の見学が出来ました。すごいです。

加藤 知彦君 本日の卓話「アコーディオンとともに歩く人生」の講師、名古屋アコーディオンクラブ会長、神谷肇氏並びに名古屋芸能人協会所属、なごやのバタやん川村忠司氏を御紹介させていただきます。

## 卓話

### 「アコーディオンとともに歩く人生」

名古屋アコーディオンクラブ会長 神谷 肇氏

ご紹介頂きました神谷肇と申します。本日は、アコーディオンと私の出会いにつきましてお話をさせていただきます。

私とアコーディオンの出会いは、私が小学校の頃、隣の家から夜になると哀愁に満ちたアコーディオンのメロディーが流れてきました。当時私の家は、大変貧しくて父親は日雇い仕事、母親は近所のガラ紡屋で働き、子供五人を一生懸命に育ててくれる中、家の中は暗い毎日でした。

そんな時、アコーディオンのメロディーが流れて来ました。私にとっては本当に何とも言えない気持ちで、心が安らいだものでした。私は一生懸命仕事をして、いつかは、アコーディオンを買おうと思いました。そして、ようやく18歳の時に、国産の小さな24ベースのアコーディオンを手にすることができました。それを手にした時は、嬉しくてアコーディオンを毎日布で磨き、枕元に置いて眺めて寝た思い出があります。そんな時、友人から名古屋のCBCの有名なアコーディオン奏者太田敏雄様(現在ヤマハミュージック東海のアコーディオン講師)を紹介されました。練習日には、アコーディオンを担いで名古屋に練習に行った思い出があります。

当時を振り返り、若い時からアコーディオンを長く続けられてきた要因の一つが健康でなければならないことだと思います。それは私が20歳の時、半田市の重度の特別養護老人ホームの慰問に行かせて頂いた時のことです。私がアコーディオンを担いで各部屋の寝たきりの人のベッドの前で昔の懐メロとか童謡などを弾いた時、目に涙を浮かべて私に手を合わせて喜んで頂いたことが、未だに私の心に残って忘れられません。そのようなことからアコーディオンの出会いから現在まで演奏を続けてきたことも、あの時の感動が心に残っているからだと思います。皆様が少しでもアコーディオンの音色で、ほんのひと時でも心なごんで頂けるなら、身体の続く限り、続けていきたいと思っております。



神谷 肇氏

### 〈講師演奏〉

私はアコーディオンの出会いを私の一生の宝として、各方面にアコーディオンの技術を皆様の前で磨かせて頂きながら、皆様に心から喜んで頂けるような演奏者になりたいと念じております。



神谷 肇氏



名古屋のバタやん川村忠司氏



川村忠司氏と神谷 肇氏

次回例会案内 平成18年 3月 8日 (水)

卓話「あなたとあなたの愛する人を乳がんから守るために」

NPO法人 J. POSH副理事長・事務局長 松田寿美子氏